

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 鶴弥
 コード番号 5386 URL <http://www.try110.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 鶴見 哲
 (氏名) 杉原 隆義

TEL 0569-29-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,459	△12.9	120	335.6	8	—	△5	—
21年3月期第1四半期	2,825	—	27	—	△77	—	△76	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△0.66	—
21年3月期第1四半期	△9.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	19,061	8,924	46.8	1,150.46
21年3月期	19,273	8,929	46.3	1,151.12

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 8,924百万円 21年3月期 8,929百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	4,931	△16.6	139	76.7	△74	—	△64	—	△8.33
通期	9,491	△13.7	274	△40.7	△82	—	△83	—	△10.74

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	7,767,800株	21年3月期	7,767,800株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	10,149株	21年3月期	10,149株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	7,757,651株	21年3月期第1四半期	7,757,701株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月8日に発表しました業績予想は、第2四半期累計期間、通期とも本資料において修正しております。

2. 業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、3ページ【定性的情報・財務諸表】「3. 業績予想に関する定性的情報」に記載のとおり、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業の一部に輸出の下げ止まりや、在庫調整の進展に伴う生産の回復は見られるものの、昨年からの世界的な金融危機が及ぼした影響は根強く、企業収益や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等を反映して、引き続き厳しい環境となりました。

当業界におきまして、粘土瓦の需要の動向を大きく左右する新設住宅着工戸数(持ち家)が、平成21年5月では8ヶ月連続で前年割れするなど、雇用・所得環境の厳しさから、販売環境は一段と厳しさを増しました。

このような情勢下、当社といたしましても、販売力を強化し、潜在需要の掘り起こしに努めた結果J形瓦(防災和形瓦)の売上高は、前年同期比104.6%となりましたが、競争の激しい主力製品であるF形瓦(防災平板瓦)の売上高は、前年同期比80.9%に留まり、総売上高は前年同期比87.1%となりました。

コスト面では、原油価格の落ち着きに伴う燃料費の安定があり、販売費及び一般管理費の節減(前年同期比88.3%)にも努めました。また、生産調整の実施により製品在庫の削減(前期末対比297百万円減)を図りました。

この結果、売上高は2,459百万円(前年同四半期比12.9%減)、営業利益120百万円(前年同四半期比335.6%増)、経常利益8百万円(前年同四半期は経常損失77百万円)、四半期純損失5百万円(前年同四半期は四半期純損失76百万円)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産額は、前事業年度末に比べ212百万円減少し19,061百万円となりました。これらは主に、たな卸資産の減少によるものです。負債総額は、前事業年度末に比べ207百万円減少し10,136百万円となりました。これらは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものです。純資産は、前事業年度末に比べ、5百万円減少し8,924百万円となり、自己資本比率は46.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて49百万円減少し708百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期会計期間に比べ57百万円減少し104百万円となりました。

これは主に、増加要因としては、税引前四半期純利益6百万円(前年同四半期は税引前四半期純損失100百万円)、たな卸資産の減少額302百万円(前年同四半期比4百万円減)、未払費用の増加額298百万円(前年同四半期比76百万円減)等によるものです。減少要因としては、仕入債務の減少額184百万円(前年同四半期比170百万円増)及び割引手形の減少額164百万円(前年同四半期比60百万円減)等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期会計期間に比べ23百万円減少し13百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出9百万円(前年同四半期比24百万円減)等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期会計期間に比べ69百万円増加し140百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出110百万円(前年同四半期比100百万円増)及び配当金の支払額30百万円(前年同四半期比30百万円減)等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績を勘案し、平成21年5月8日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成21年8月5日)別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	750,331	799,614
受取手形及び売掛金	2,144,373	1,916,778
商品及び製品	1,766,272	2,071,694
仕掛品	51,676	46,949
原材料及び貯蔵品	147,437	149,468
その他	204,882	190,030
貸倒引当金	10,577	12,897
流動資産合計	5,054,396	5,161,639
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,927,061	1,948,692
機械及び装置 (純額)	1,846,659	1,929,997
土地	9,153,286	9,153,286
建設仮勘定	18,522	31,330
その他 (純額)	496,974	500,593
有形固定資産合計	13,442,504	13,563,900
無形固定資産	16,486	17,335
投資その他の資産		
投資有価証券	226,629	182,821
その他	630,050	658,511
貸倒引当金	308,966	310,774
投資その他の資産合計	547,713	530,558
固定資産合計	14,006,705	14,111,794
資産合計	19,061,101	19,273,433

(単位:千円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,388,672	1,573,668
短期借入金	5,000,000	5,300,000
1年内返済予定の長期借入金	530,000	440,000
未払法人税等	6,925	16,770
賞与引当金	38,030	164,230
その他	779,963	567,273
流動負債合計	7,743,590	8,061,942
固定負債		
長期借入金	1,690,000	1,590,000
退職給付引当金	55,336	53,526
役員退職慰労引当金	631,288	627,974
その他	16,000	10,000
固定負債合計	2,392,624	2,281,500
負債合計	10,136,215	10,343,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	3,819,917	3,863,830
自己株式	5,713	5,713
株主資本合計	8,925,530	8,969,443
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	644	39,452
評価・換算差額等合計	644	39,452
純資産合計	8,924,886	8,929,990
負債純資産合計	19,061,101	19,273,433

(2) 四半期損益計算書
(第 1 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)
売上高	2,825,309	2,459,543
売上原価	2,311,837	1,909,848
売上総利益	513,472	549,694
販売費及び一般管理費	485,698	428,706
営業利益	27,773	120,988
営業外収益		
受取利息	1,465	181
受取配当金	4,329	4,330
保険配当金	3,788	-
その他	6,889	3,918
営業外収益合計	16,473	8,430
営業外費用		
支払利息	26,426	24,336
手形売却損	4,845	2,135
工場休止に伴う諸費用	90,198	93,951
その他	-	7
営業外費用合計	121,470	120,430
経常利益又は経常損失 ()	77,223	8,987
特別利益		
固定資産売却益	-	280
貸倒引当金戻入額	-	4,127
特別利益合計	-	4,408
特別損失		
固定資産除売却損	6,172	-
関係会社株式評価損	-	6,784
貸倒引当金繰入額	3,000	-
訴訟関連損失	14,273	-
特別損失合計	23,445	6,784
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	100,669	6,611
法人税、住民税及び事業税	16,299	3,091
法人税等調整額	40,921	8,645
法人税等合計	24,622	11,736
四半期純損失 ()	76,047	5,124

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	100,669	6,611
減価償却費	177,532	165,169
貸倒引当金の増減額 (は減少)	17,417	4,127
退職給付引当金の増減額 (は減少)	2,702	1,810
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	44,501	3,314
賞与引当金の増減額 (は減少)	143,621	126,200
受取利息及び受取配当金	5,794	4,511
支払利息	26,426	24,336
関係会社株式評価損	-	6,784
売上債権の増減額 (は増加)	258,111	69,960
たな卸資産の増減額 (は増加)	307,258	302,727
仕入債務の増減額 (は減少)	14,609	184,995
割引手形の増減額 (は減少)	225,772	164,884
未払費用の増減額 (は減少)	374,265	298,206
その他	144,941	94,080
小計	252,060	160,199
利息及び配当金の受取額	5,783	4,151
利息の支払額	61,037	53,059
法人税等の支払額	34,920	6,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,886	104,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	34,337	9,477
有形固定資産の売却による収入	756	140
無形固定資産の取得による支出	244	-
投資有価証券の取得による支出	-	5,000
貸付金の回収による収入	10,826	1,015
その他	14,284	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,283	13,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (は減少)	-	300,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	10,000	110,000
配当金の支払額	61,364	30,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,364	140,653
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	53,238	49,282
現金及び現金同等物の期首残高	645,033	757,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	698,272	708,331

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
J形瓦	542,250	128.4
F形瓦	1,104,938	87.9
M形瓦	184,311	131.7
合計	1,831,500	100.6

(注) 1. 金額は、平均売価によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第1四半期会計期間における製品及び商品の仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
製品	J形瓦	36,601
	F形瓦	86,613
	M形瓦	8,893
小計	132,108	74.3
商品	その他	99,010
合計	231,118	71.9

(注) 1. 金額は、仕入価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 商品の「その他」は、S形瓦・いぶし瓦・副資材が主力であります。

(3) 受注状況

当社は受注見込みによる生産方式をとっておりますので、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
製品	J形瓦	747,235
	F形瓦	1,355,134
	M形瓦	176,294
小計	2,278,664	88.2
商品	その他	134,156
工事売上	46,722	69.2
合計	2,459,543	87.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。